5月園だより

２０１６年度 年主題 〈平和をともに〉

0･1･2歳児５月主題 「気づいて」

月のねがい

◎さんびかに親しむ
◎草花にふれて、散策を楽しむ
◎ゆったりした生活リズムや雰囲気の中で、保育者と信頼関係を築き、思いや甘えを伝えようとする
◎好きな場所、遊びを見つけて遊ぶ

3･4･5歳児５月主題 「気づき」

月のねがい

◎神さまに愛され、守られていることを知る
◎興味があることを見つけて、自分からかかわろうとする
◎友だちとのふれあいやかかわりが生まれる
◎自分の気持ちや気づいたことを身近な人に伝えようとする

今月の聖句「喜ぶものといっしょに喜び、泣くものといっしょに泣きなさい。」

ローマ人への手紙12章15節

人生には、貧困であろうと裕福であろうと、そのことに関係なく、喜怒哀楽はつきものです。折しも、熊本地震がいまだに収束しない状況ですが、被災された皆さんが、一時も早く平穏な生活を取り戻されるようにお祈りします。

一方、「人生すべて塞翁が馬」の譬えで、万事が喜ばしい方向へ向くときもあり、喜ばしいことが続くことも、また事実です。節分会（え）で「福は～内、鬼は～外」と人々が望むわけですが、希望通りに運ばないのが人生でもあります。喜ばしい出来事、悲しい出来事が起こった場合、私たちは慣行として、お祝いやお悔やみを致します。これは古来よりの習わしで、喜びと悲しみを分かち合い、助け合いましょうという、とても素晴らしことです。こども園のお友達が、病気でおやすみすると、その方がはやく「元気になりますように」と、みんなでお祈りします。このように、幼いときから、隣人の幸･不幸に対して共感し、共有して、悲しみと喜びを分かち合うことがどんなにか心の力になることを体験してほしいものです。

前理事長　池田公榮

５月の行事予定

７日（土）	親子遠足，父母会総会
９～２０日	家庭訪問
１２日（木）	４・５月誕生会
１７日（火）	避難訓練
１９日（木）	内科検診
１９日（木）	給食試食会（たんぽぽ）
２０日（金）	〃　（こすもす･すみれ）
25・26日	消防署見学
２５日（水）	弁当日
３１日（火）	ふれあい遊び（未就園児）

６月の行事予定

８日（水）	歯科検診
１４日（火）	６月誕生会
２５日（土）	家族の日参観
２９日（水）	プール遊び
〃	弁当日

みんなの仕事はたくさん遊ぶこと!

今年度が始まって、1カ月経ちました。ありがたいことに、またたくさんのお友だちが加わり、にぎやかにスタート！

新しいお友だちは、お母さんから離れての初めての園生活。朝はちょっぴり涙が出るお友だちもいますが、保育室に入ると自分でカバンやお帳面の片付けも頑張っています。体育館で遊ぶ時には笑顔で先生やお友だちと遊べるようになってきました。在園生は手を引いて、「こっちだよ」と優しく教えてくれます。たったひと月の間に、なんだかずいぶんお兄ちゃん、お姉ちゃんになったように感じます。

もも組さんは毎朝泣き声の大合唱でしたが、少しずつ泣く時間が短くなってきたり、先生に抱っこされ笑顔を見せてくれるようになりました。毎日毎日、園に慣れていく姿に嬉しく思います。

礼拝で、愛先生からみんなの仕事はたくさん遊ぶことだよ！と教えてもらいました。みんなはワクワクした様子でお話を聞いていました。

そんなある日、田植えが終わったばっかりの田んぼにはおたまじゃくしがたーくさん！器にすくってみようと身を乗り出すあまり田んぼにズボッと落ちてしまう子も…。靴は泥んこになってしまいましたが、おたまじゃくしに心を惹かれ夢中になれるってすてきだなぁと感じました。

こども園でのたくさん遊びを通して、不思議だなぁと感じたり、やってみよう！と興味をもったり、お友達の気持ちに気付いたり、いろんな経験をできたらいいなぁと思います。5月もいっぱい遊ぼうね！

大河

あそんであそんで人間になる

枝いっぱいに芽吹いた新緑の間から、優しい木漏れ日が園庭に注いでいます。いつものようにアマリリスが咲き誇り、スイゼンジナの花も開き始めました。美しく乱舞するアサギマダラの到来もまた楽しみです。心地良い屋外の様子に反して、園長室は最悪の状態。新制度開始の一年間で溜まった未整理のモノで溢れています。連休は、文字通り山積している書類と仲良く過ごします。

新年度を迎えて、あっという間のひと月が過ぎました。玄関や保育室で聞こえていた泣き声もほとんど納まり、少しずつ自分の居場所を見つけ始めた子どもたちです。新しい環境を観察しつつ、一日の流れや約束事を理解し始めて、周囲の子どもたちのことにも関心が向いてくるでしょう。それに伴い、自己主張の衝突も出てくるということになります。いつも仲良く遊んで欲しいと大人は願いますが、様々な心の葛藤や交流を経て、互いを認め合う関係になっていくのを見守ることも大切ですね。

子どもにとって、遊びは生きることそのものです。「これは何だろう？」「もっと知りたい！」知的好奇心の刺激が将来の学びや社会へ向かう原動力となります。ただ無秩序に遊んでいるように見えても、子どもたちの脳はフル回転で、いつも楽しいことを探しています。夢中になって遊ぶ中で友だちとのトラブルや葛藤を体験し、挫折感や成功感を味わいます。遊びを考え、工夫し、試行し、協力し合います。自然溢れる空間、ゆったり流れる時間、そして感動を共感できる友だち、都市部では少なくなってしまったこの三間こそ遊びの大切な環境構成といえるでしょう。皆さんも幼い日に、我を忘れて遊びにに没頭したことがおありでしょう。ノーベル賞を受賞するような方々の多くが、幼い日に昆虫採集や川遊び、風呂焚きを通して探求する心を養ったと回顧されています。集団の中で生まれる絶妙な距離感と自己主張のバランスが、梁塵秘抄のあの歌『遊びをせむとや生まれけむ』という子どもの真骨頂です。私たちもほどよい「遊び」心を持って子どもたちに接していきたいものです。

何よりも保護者の皆さんが、お子さんのありのままをしっかり受け止めてくださる安全基地であることです。「泣いてもいいんだよ！」「いっぱいあそんでおいで！」と送り出してくだされば幸いです。子どもによっては、そろそろ疲れが出始める頃です。連休をご家族で楽しまれながら、どうぞ十分な休養もお願いしたいと思います。梅雨時を元気に乗り越えるためにも、毎日の変化に応じた対応や食事・睡眠に留意し、保護者の皆様のご協力をいただきながら楽しい園生活を支えていきたいと思います。

園　長

からだをつかっていっぱいあそぼうね！

いろんな活動や行事には体力が必要です。成長の基礎となるからだ作りは、幼児期に大切なもの。子どもたちは、頭と身体をフル回転させながら探求と交わりを深め、日々体幹を整えていきます！